

ユーザーズ ガイド



使用上の注意 ————— P52 ~ P54

使用上の注意 ————— P52

機器の搬入(移動)と設置上の注意 /

タイル貼りパネルについて / 床下地(塗床)状況と

接着強度への影響について ————— P53

保守について / レイアウト変更・その他 ————— P54

フリーアクセスフロアの試験方法 — P55 ~ P57

適用範囲および試験項目 / 試験の一般条件 /

寸法測定 / 静荷重試験 ————— P55

衝撃試験 / ローリングロード試験 /

燃焼試験 / 帯電性試験 ————— P56

漏えい抵抗試験 / 振動試験 ————— P57



フリーアクセスフロアの性能評価 ————— P58

⚠ 使用上の注意

施工完了後、商品ごとに取扱説明書をお渡ししております。ご使用前にはこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しい方法でご使用ください。また、取扱説明書はお読みになられた後は保管していただきますようお願い致します。

1. 改造厳禁

フリーアクセスフロアは、ご使用条件（使用場所や設置機器の重量）により選定、施工されています。パネルや支持脚の改造（穴開け、切断）は、フリーアクセスフロアの強度低下を招くなどの影響がありますので補強などの処置が必要です。改造をされる際には当社までご相談ください。

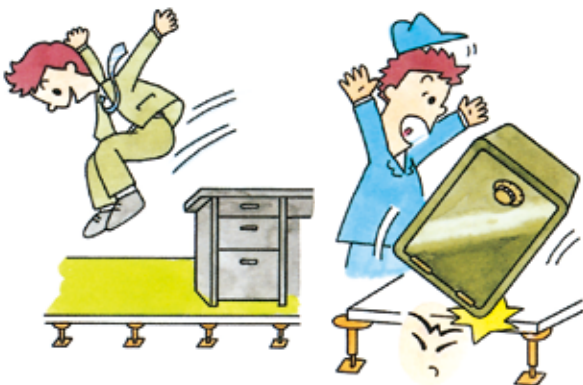


フリーアクセスフロアに敷いてある表面材（カーペット、タイルなど）は、はがさずにご使用ください。



2. 衝撃注意

フリーアクセスフロアは、商品仕様に記載されている荷重に耐えられるよう設計されておりますが、重い物を落としたり、踏み台などから飛び降りたりするとパネルや支持脚に変形や破損が発生することがありますので、やめてください。

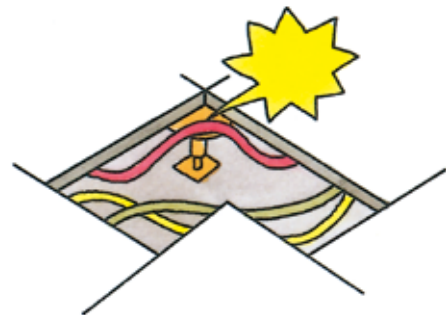


3. 水をこぼしたら

大量の水などをこぼした場合は、パネルを取り外し、よく乾燥させてください。支持脚の接着力の低下、パネルのさびあるいは強度の低下、漏電の原因となります。

4. パネルを外すとき

パネルは必要なとき以外は取り外さないでください。配線工事などでパネルを取り外すときはフリーアクセスフロア下の電源ケーブルや電話線などに十分注意してください。また、取り外したパネルは倒したりせずに丁寧に取り扱い、取り外したパネルは元の位置に同じ方向で収めてください。パネルの取扱い（取外し、敷込み、ガタツキ調整）の方法は取扱説明書をご参照ください。



パネルを取り外したままにしないでください、思わぬ事故につながります。やむを得ず取り外したまま放置する場合は、その周りに柵などで囲いをして落下事故を防止してください。



5. 換気は十分に

長時間使用されない部屋や湿度の高い部屋では、パネルが結露することがあります。結露はさびや漏電などの原因となりますので、室内の換気には十分ご注意ください。

6. 配線をするとき

機器の配線は漏電の危険がありますので、余裕を持たせた配線を行ってください。

⚠ 機器の搬入(移動)と設置上の注意

重量物制限はパネルの種類により異なりますので、取扱説明書をご参照ください。

1. 搬入(移動)

- フリーアクセスフロア上で重量物を移動するときには、その自重以上の荷重がパネルにかかる場合があります。そのためパネル・支持脚などに変形や破損が発生することがありますので、取扱説明書に記載されている方法で養生(保護)をしてください。
- フリーアクセスフロア上で台車の通路となる所は、表面材が柔らかいので養生(保護)をしてください。
- 機器は、引き擦りますとパネルに貼ったタイルやカーペットタイルが傷つきますのでご注意ください。
- 台車などで移動する場合は「ガタン」といった衝撃がかからないようにゆっくりと移動してください。



2. 設置

- フリーアクセスフロアの上に重量物を設置するときは、設置面の面積が小さいとパネルに偏った荷重がかかり、変形や破損が発生することがありますので補強が必要です。
- 重量物の設置時には「ドスン」といった衝撃を与えないようにそっと設置してください。衝撃を与えますとパネル、支持脚に変形や破損が発生します。

■機器搬入・設置の目安

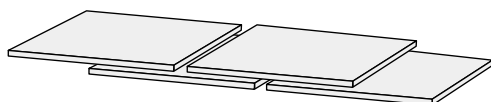
パネルタイプ	搬入時		設置時
	養生不要 ^{※1}	養生必要 ^{※1}	機器重量 ^{※2}
2000N (200kgf)	1000N まで (100kgf)	2000N 未満 (200kgf)	4000N まで (400kgf)
3000N (300kgf)	1500N まで (150kgf)	3000N 未満 (300kgf)	6000N まで (600kgf)
5000N (500kgf)	2500N まで (250kgf)	5000N 未満 (500kgf)	10000N まで (1000kgf)
6000N (600kgf)	3000N まで (300kgf)	6000N 未満 (600kgf)	12000N まで (1200kgf)

※1 但し、表面材が傷みます。

※2 4脚支持の機器でパネル1枚の上に機器の脚が1本しか乗らない場合

■養生方法

導板(ベニヤ板・銅板など)を台車の通路となる所に敷いてください。



300kg 未満	ベニヤ9mm1枚
500kg 未満	ベニヤ9mm2枚
500kg 以上	ご相談ください

⚠ タイル貼りパネルの使用環境について

フリーアクセスフロア施工後に長時間空調を使用されない環境で高温や多湿の状態が長時間継続されますと、パネルから錆の発生が生じたり、表面材の膨れや剥れが発生する恐れがあります。室内の換気や空調により、長時間の高温や多湿の環境にならないように注意して下さい。

⚠ 床下地(塗床)状況と接着強度への影響について

支持脚固定タイプの場合、地震時などの水平力は支持脚の接着で持ちこたえます。接着強度は床下地の特に塗床の状況に大きく影響する為、塗床とコンクリート床や塗床と接着剤との密着性の確認が必要です。規定の接着強度を満たさない場合、耐震強度などを満足できないこととなります。過去には規定の接着強度を満たさないトラブルが発生しております。今までにトラブルが発生した塗床は浸透型表面強化剤(水ガラス)とアクリル樹脂系(水性型)の2種類が多くなっていますので、ご注意ください。

⚠ 保守について

1. 定期点検

長年にわたりフリーアクセスフロアの性能を保つために定期的な点検(2～3年に一度)を当社までご用命ください。

2. カーペットタイルのお手入れ

- 日頃の掃除は、電気掃除機で行ってください。
- コーヒーやソースなどをこぼしたときは、すぐに水でぬらし軽くしぼった雑巾で汚れを拭き取ってください。
- 落ちにくい汚れは、カーペットタイルを取り外して水で薄めた中性洗剤で洗い、十分に乾燥してから敷いてください。また、汚れのひどいときは交換してください。(例) スポットクリーニング専用洗剤/綿半鋼機:ケムドライシステム(ステインエクステングイッシャー)
- ご使用のカーペットタイルの取扱説明書をご覧ください。



3. 帯電防止タイルのお手入れ

- 使用する前に帯電防止ワックスを塗ってください。標準工事では施工完了時に帯電防止ワックスを塗布していません。帯電防止ワックスはタイルをキズや汚れから保護します。なお、ワックスはタイルメーカー指定の帯電防止用ワックスをご使用ください。指定以外のワックスは、帯電防止の効果が低下します。
(例) (株)リンレイ・ノンスタック・ジョンソン(株)・エレックス
- 日頃の掃除は、電気掃除機で行い、その後固く絞った雑巾などで拭いてください。
- クリーナーやリムーバーを使用するときは、パネルを外し他の場所に移してご使用ください。その場で使用すると溶剤が支持脚などにかかり、さびの原因になります。



⚠ レイアウト変更・その他

- 小さな変更の場合は、取扱説明書に従って行ってください。
- 増改築などで広範囲にパネルを動かすとき、コンセントボックスの追加などは補強工事が必要な場合がございますので、ご相談ください。
- 機器の配置変更に伴うパネル切欠施工などの際は、ご相談ください。
- コンセントボックスなどの付属品については、それぞれのメーカーの取扱説明書をご覧ください。
- 定期的な巡回、点検を行うメンテナンス契約も取り扱っております。詳細についてはご相談ください。

※ なお、ご使用にあたってご不明な点がございましたら、当社営業窓口までお問い合わせください。